

# 平成25年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



## HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・平成25年、東京都に新たに報告されたHIV感染者とAIDS患者は469件となり、過去5位であった。
- ・AIDS患者は前年から18件増加し、過去最も多い報告数であった。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者で約32%、AIDS患者は約23%であった。
- ・国籍別、性別のHIV感染者とAIDS患者報告数をみると、日本国籍の男性の割合が高く全体の約88%を占めている。
- ・推定感染経路別にみるとHIV感染者の約91%、AIDS患者の約83%が性的接触であり、同性間性的接触が多い。
- ・年齢別にみると、HIV感染者報告数は20歳代と30歳代が多く、AIDS患者報告数は30歳代と40歳代に多い。
- ・推定感染地域をみると国内が多い。
- ・ニューモシスティス肺炎の発症を契機とするAIDS患者報告が多く、AIDS患者報告数の約6割を占めている。



## 相談・検査・療養体制

- ・平成25年、エイズ電話相談件数は、前年より減少し、過去10年のうち最も少ない件数であった。
- ・「東京都エイズ電話相談」の相談者は男性が多く、20歳代と30歳代が多い。相談内容は感染不安や感染経路に関するものが多い。
- ・平成25年、HIV検査件数は、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所、東京都南新宿検査・相談室ともに前年より増加した。一方、陽性件数、陽性率は、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所、東京都南新宿検査・相談室ともに前年より減少した。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、平成25年ではHIV感染者とAIDS患者の累積報告数の8割弱が手帳の交付を受けている。
- ・梅毒の陽性率は男性が高く、クラミジア、淋病の陽性率は女性が高い。

本「AIDS News Letter No. 150（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成25年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載した。平成19年4月より八王子保健所は八王子市保健所、平成23年4月より町田保健所は町田市保健所となったが、経年比較をするため「多摩・島しょ地域保健所」に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所及び町田市保健所を含む多摩・島しょ地域保健所を合わせて、「都内保健所」と表現した。

また、「東京都エイズ電話相談」は、平成25年4月から「東京都HIV／エイズ電話相談」に名称変更している。

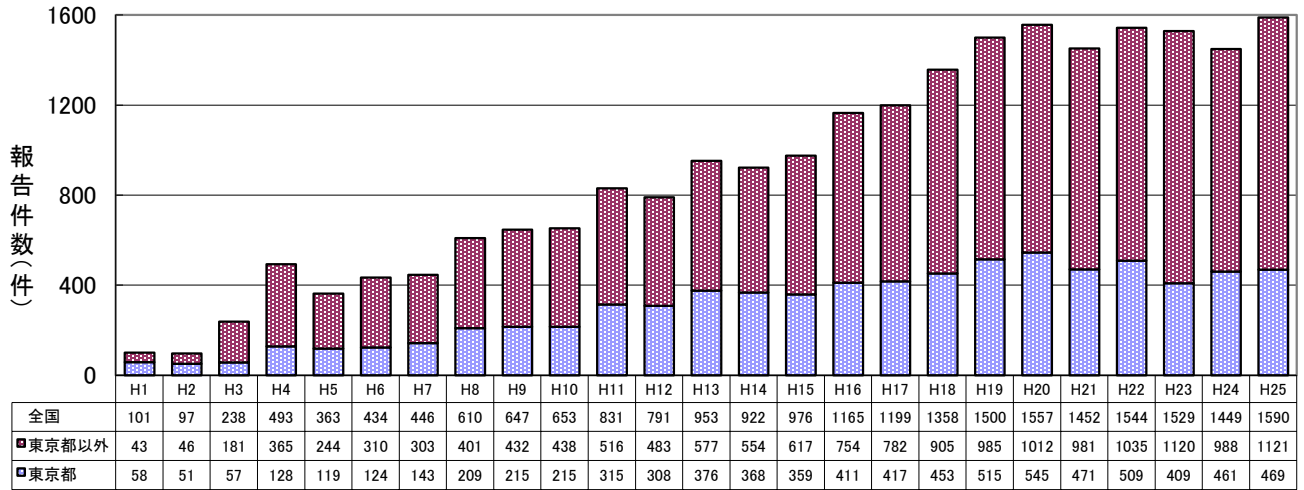
# 目 次

I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
P.3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別報告数年次推移
P.4	1-4	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別報告数年次推移
	1-5	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-6	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
P.5	1-7	HIV感染者とAIDS患者	東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移
P.6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-12	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成25年）
P.7	1-13	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移
P.8	1-16	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-17	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（平成25年）
P.9	1-19	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都のAIDS指標疾患（平成25年）
II 相談・検査・療養体制			
P.10	2-1	エイズ電話相談	東京都のエイズ電話相談件数年次推移
	2-2	エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別（平成25年）
	2-3	エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成25年）
P.11	2-4	エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談内容（平成25年）
	2-5	HIV検査	東京都のHIV検査件数年次推移
P.12	2-6	HIV検査	東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
	2-7	医療機関	東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成21年～平成25年）
P.13	2-8	身体障害者手帳	東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移
	2-9	性感染症検査	東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（平成25年）
III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P.14	世界のHIV/AIDS流行状況2012年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2013年末現在（厚生労働省）		

# 1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

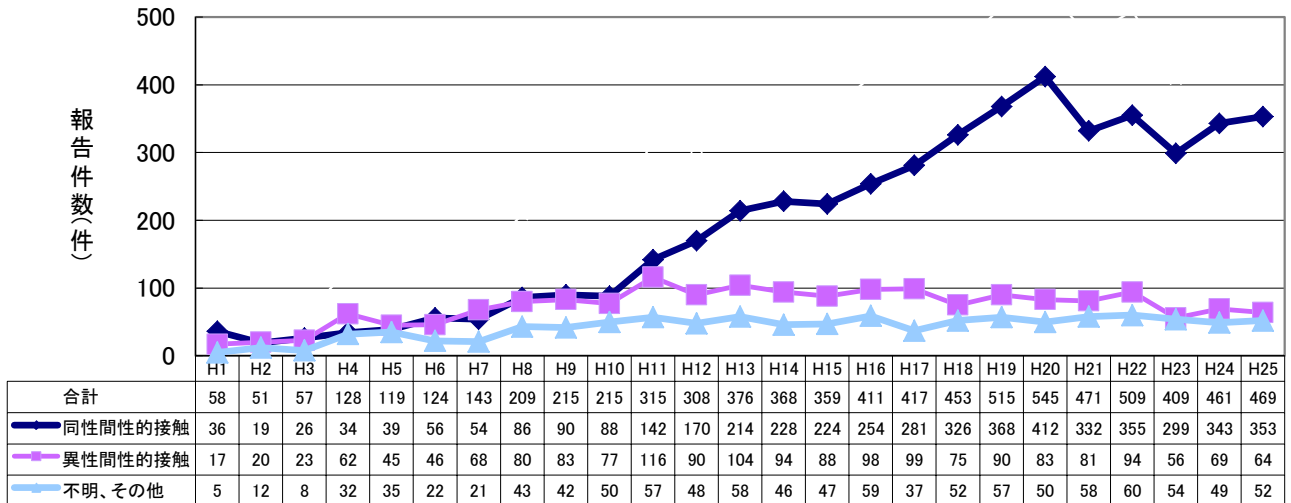
## [ HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS) ]

1-1  
東京都と全  
国の報告数  
年次推移



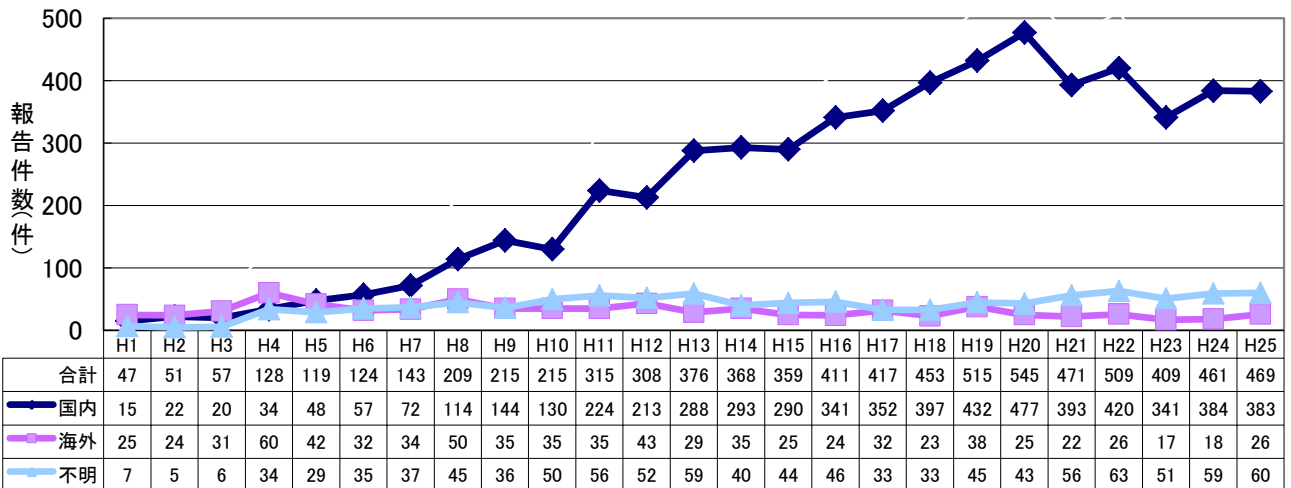
東京都、東京都以外とも前年と比べ報告数が増加し、全国では過去最多となった。

1-2  
東京都の推  
定感染経路  
別報告数年  
次推移



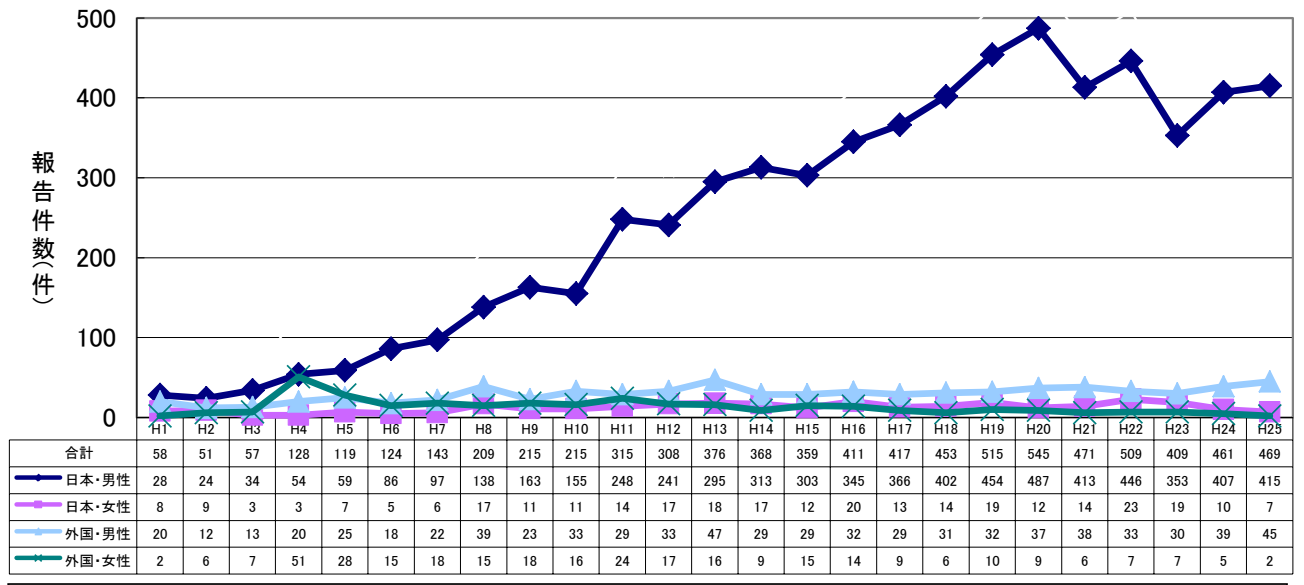
同性間性的接触による報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減している。平成25年は2年連続で増加し、前年に比べ10件の増加であった。異性間性的接触による報告数は、前年に比べ5件減少した。

1-3  
東京都の推  
定感染地別  
報告数年次  
推移



国内の推定感染地報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減している。海外の推定感染地報告数は横ばい傾向である。

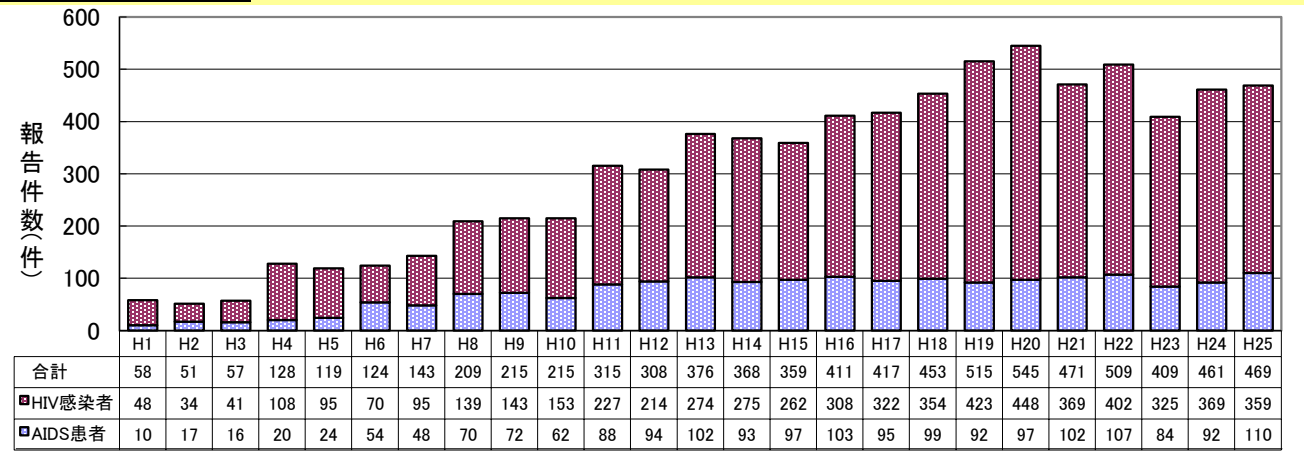
1-4  
東京都の国籍別・性別報告数年次推移



日本国籍男性の報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成25年は2年連続で増加した。また、外国籍男性の報告数も前年に比べ増加した。日本国籍女性の報告数は減少傾向である。

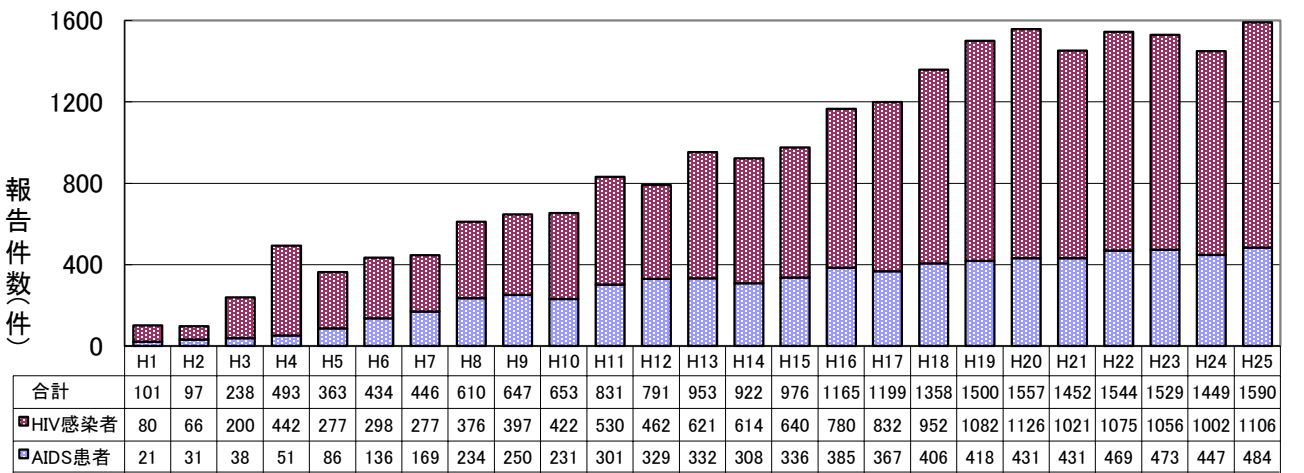
[ HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS) ]

1-5  
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



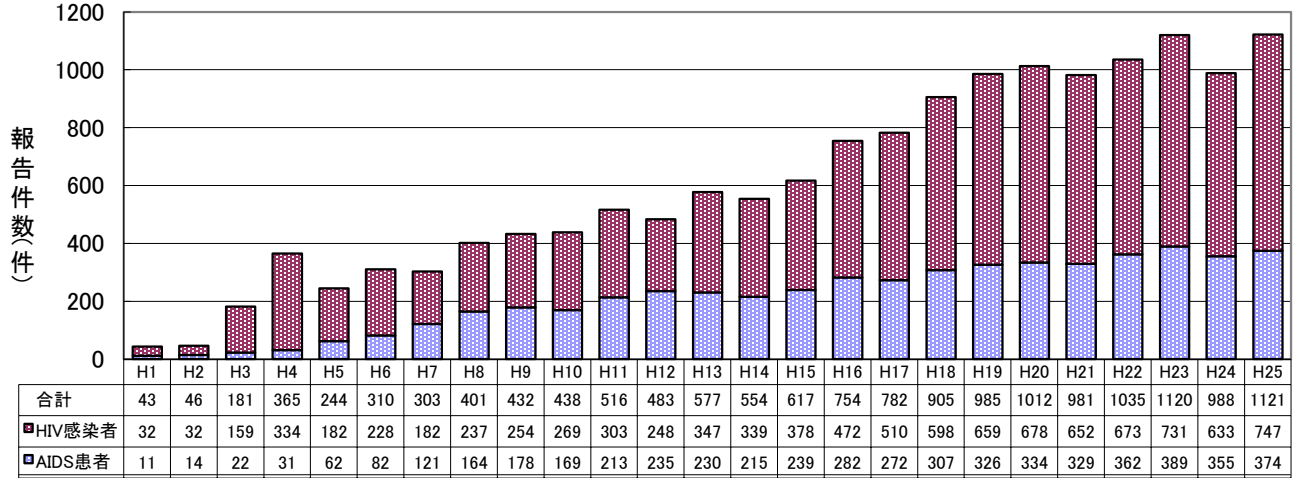
東京都におけるHIV感染者報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降増減しており、平成25年は前年と比べ10件減少した。AIDS患者報告数は過去最多となった。

1-6  
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、平成19年以降1,000件を超える報告数が続いており、平成25年は過去2番目に多い報告数であった。AIDS患者報告数は増減しながら全体としては増加傾向であり、平成25年は過去最多となった。

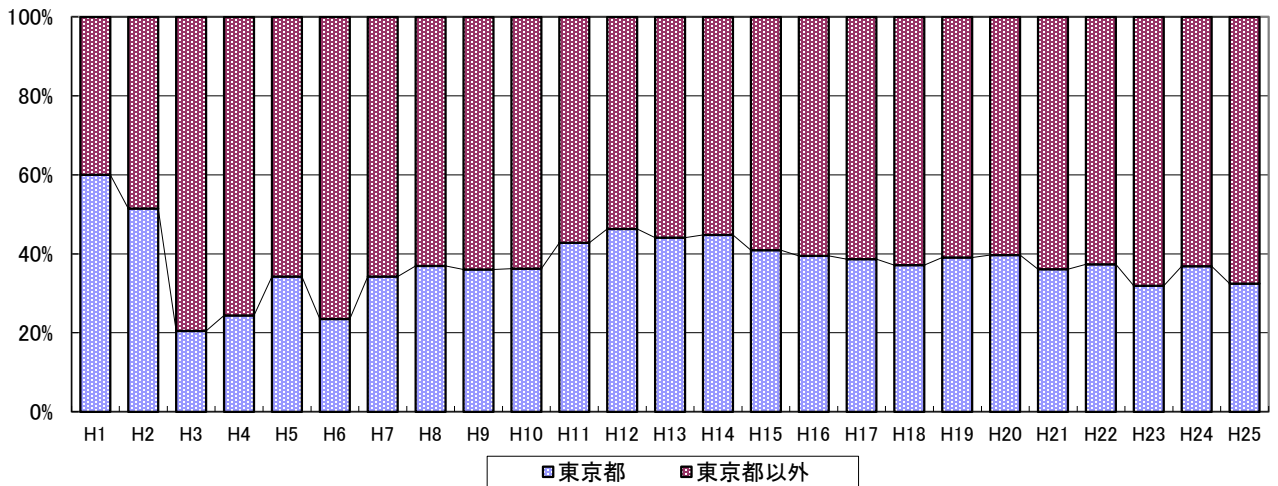
1-7  
東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



東京都以外におけるHIV感染者報告数は過去最多となった。AIDS患者報告数は増減しながら全体としては増加傾向であり、平成25年は前年と比べ19件増加した。

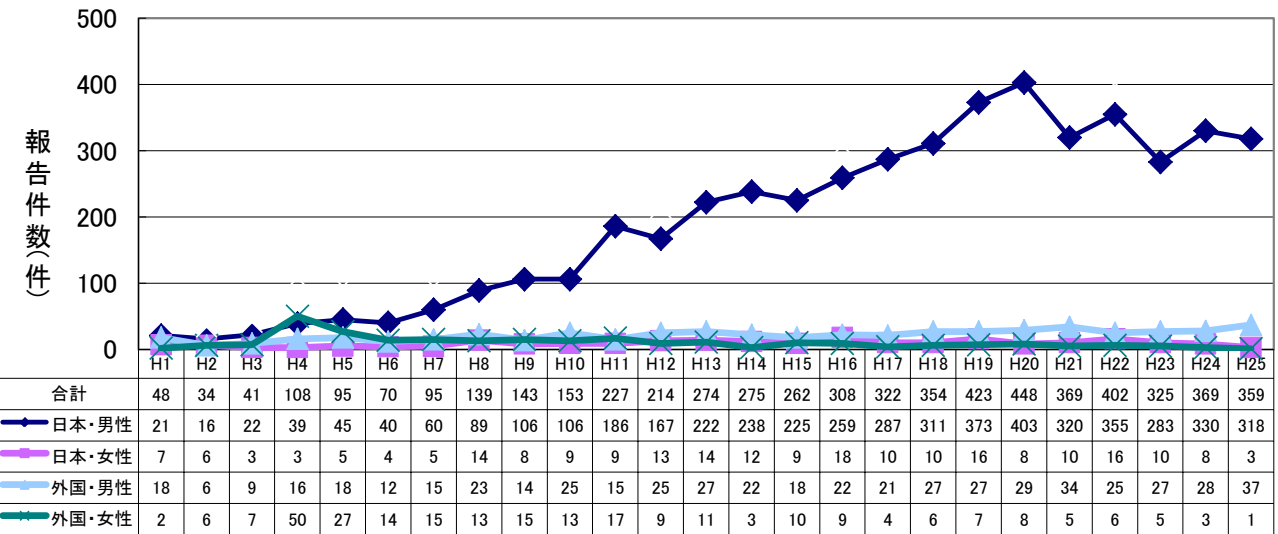
[ HIV感染者 (HIV) ]

1-8  
全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移



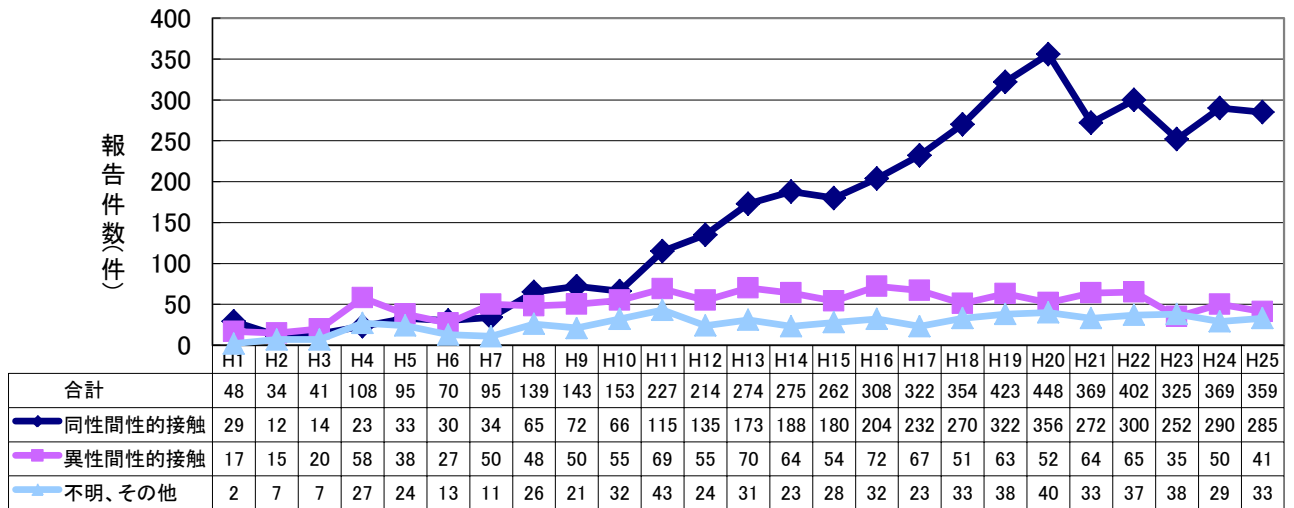
東京都のHIV感染者報告数は、近年、全国の3割強で推移している。

1-9  
東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移



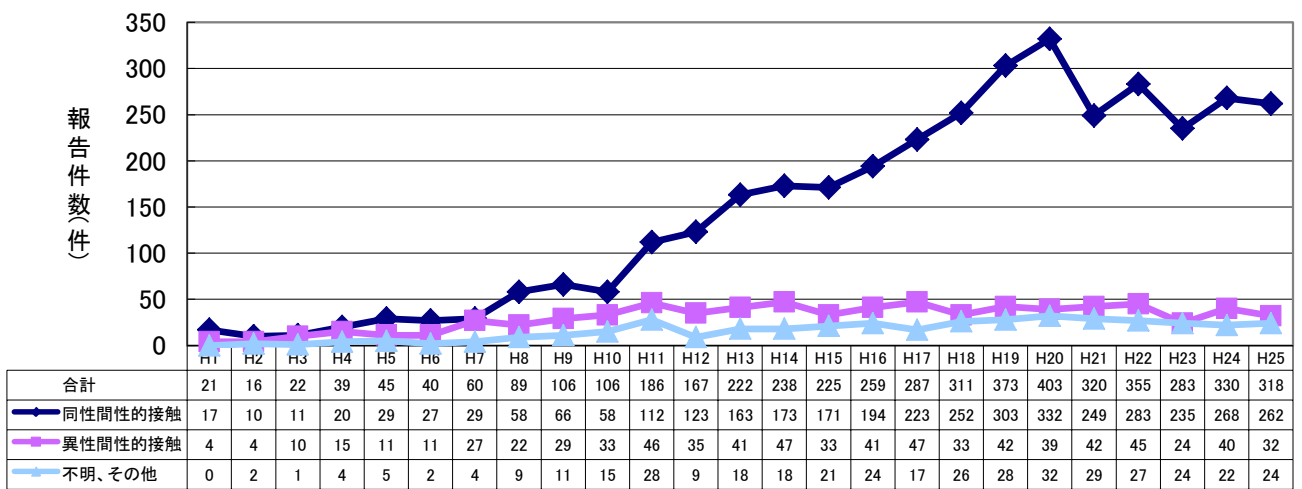
日本国籍男性の報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成25年は前年に比べ12件減少した。外国籍男性の報告数は増加傾向であり、平成25年は過去最多となった。日本国籍女性、外国籍女性は過去最も少ない報告数であった。

1-10  
東京都の  
HIV感染者  
の推定感染  
経路別報告  
数年次推移



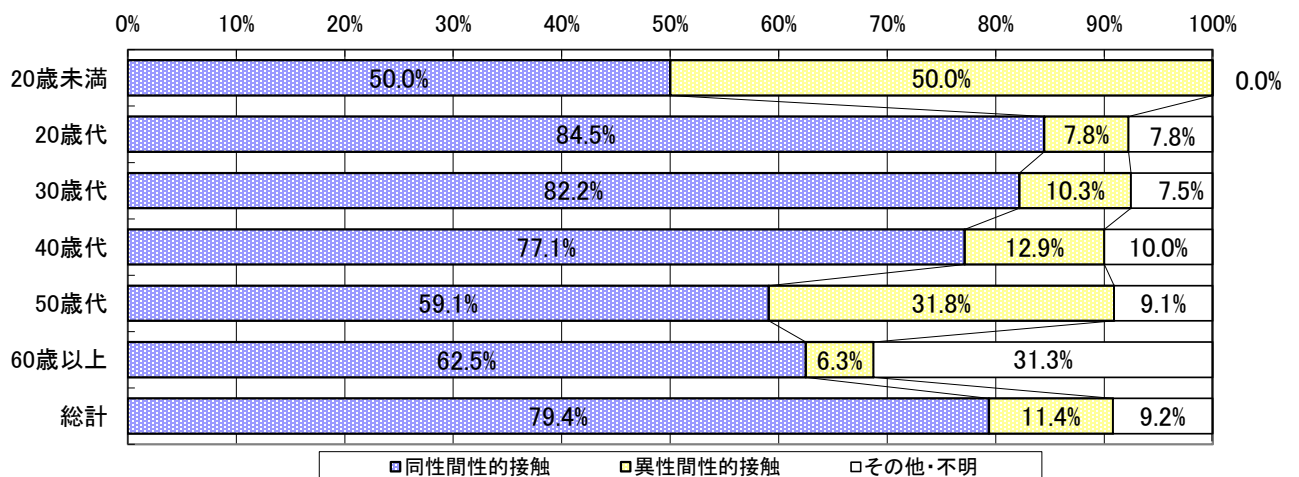
同性間性的接触によるものが8割弱を占めており、報告数については増減している。異性間性的接触の報告数は横ばい傾向である。

1-11  
東京都の日本国籍男性  
における  
HIV感染者  
の推定感染  
経路別報告



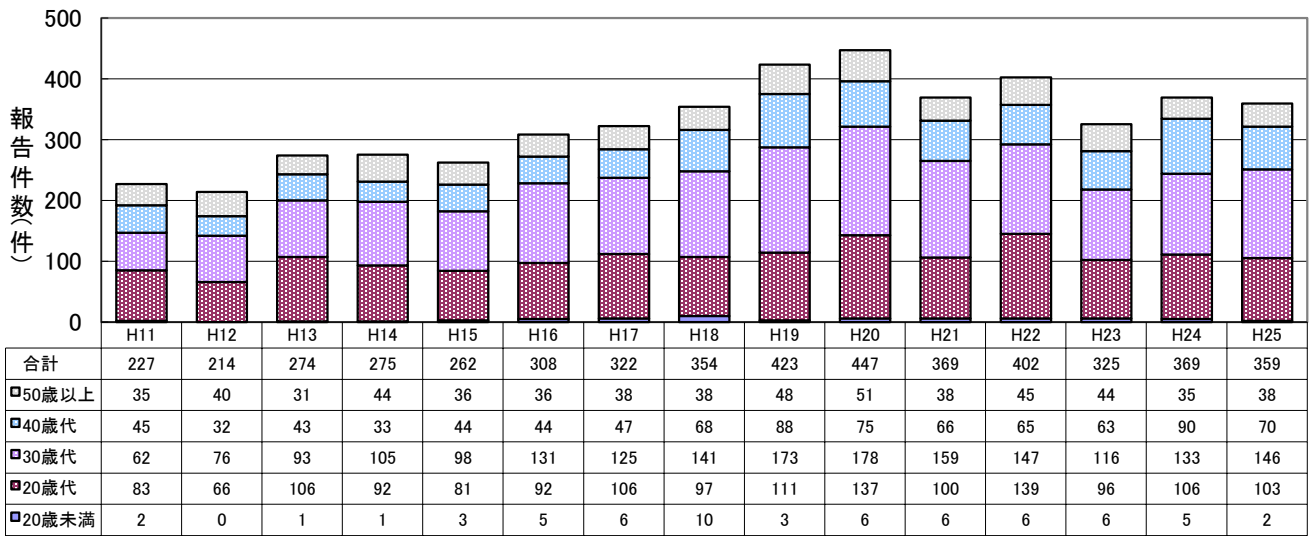
HIV感染者報告数の多い日本国籍男性でみると、同性間性的接触によるものが8割強を占め、報告数については増減している。異性間性的接触の報告数は横ばい傾向である。

1-12  
東京都のHIV  
感染者の年齢別・推定  
感染経路別  
報告割合  
(平成25年)



20歳代、30歳代においては同性間性的接触が8割強であり、40歳代では8割弱、50歳代、60歳以上の年代でも約6割が同性間性的接触である。

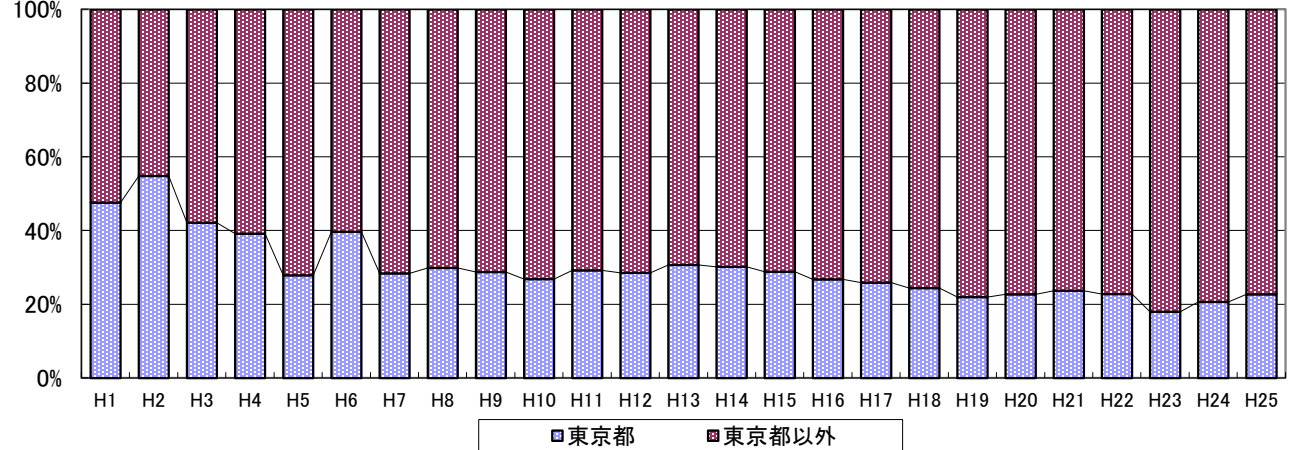
1-13  
東京都の  
HIV感染者  
の年齢別報  
告数年次推  
移



平成25年は30歳代の報告数が増加し、40歳代の報告数が減少した。その他の年代は横ばいであった。20歳代、30歳代の報告数が多い傾向が続いている。

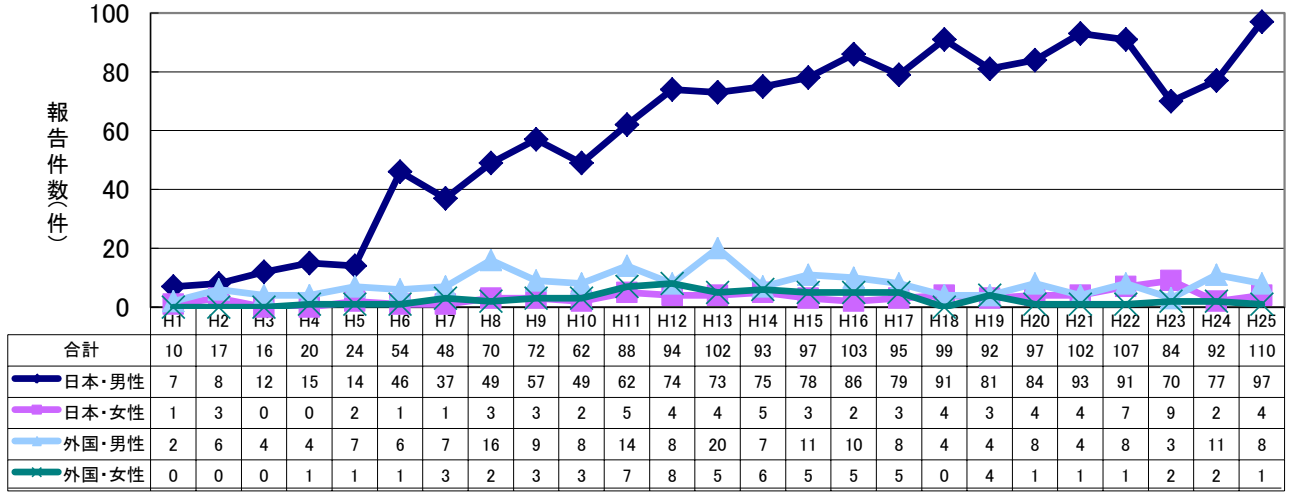
[ AIDS患者 (AIDS) ]

1-14  
全国に占め  
る東京都の  
AIDS患者報  
告数割合年  
次推移



東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の約4分の1で推移している。

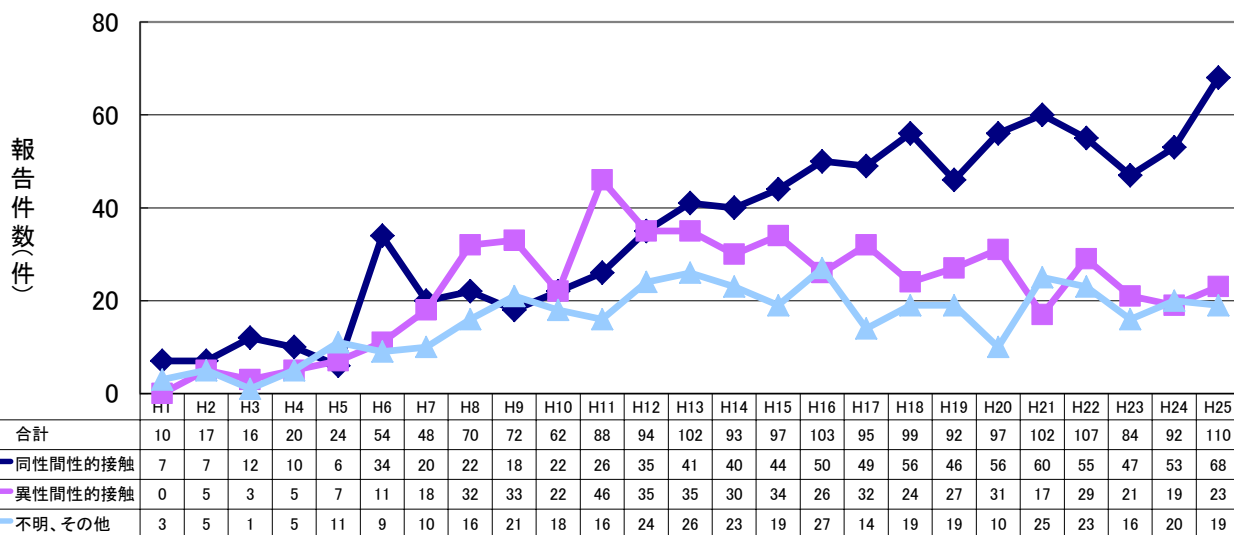
1-15  
東京都の  
AIDS患者の  
国籍別・性  
別報告数年  
次推移



日本国籍男性の報告数は、平成23年に一旦減少したものの、平成25年は2年連続で増加し、過去最多となった。

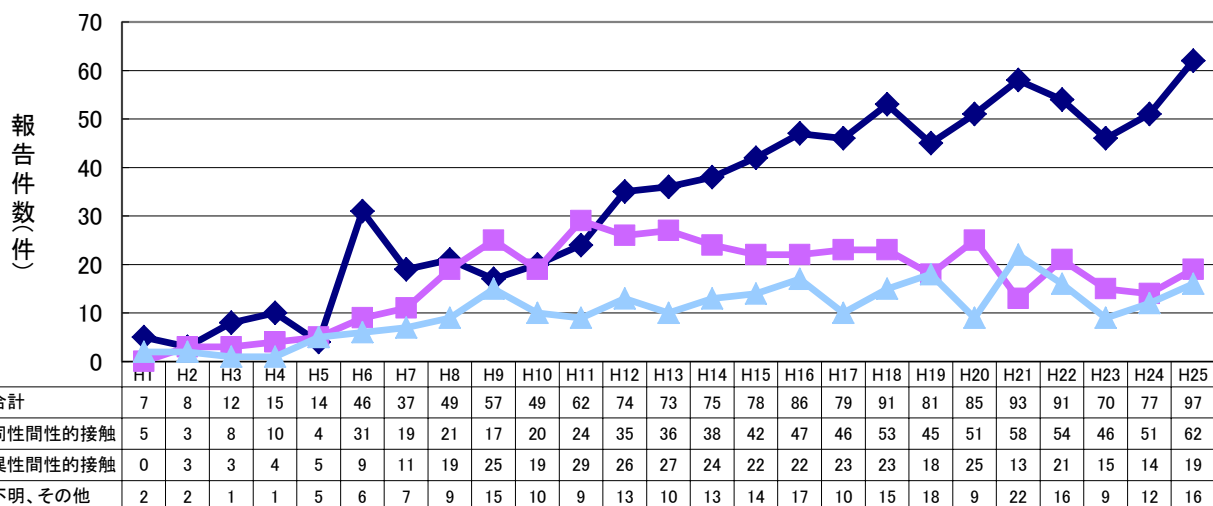


1-16  
東京都の  
AIDS患者の  
推定感染経  
路別報告数  
年次推移



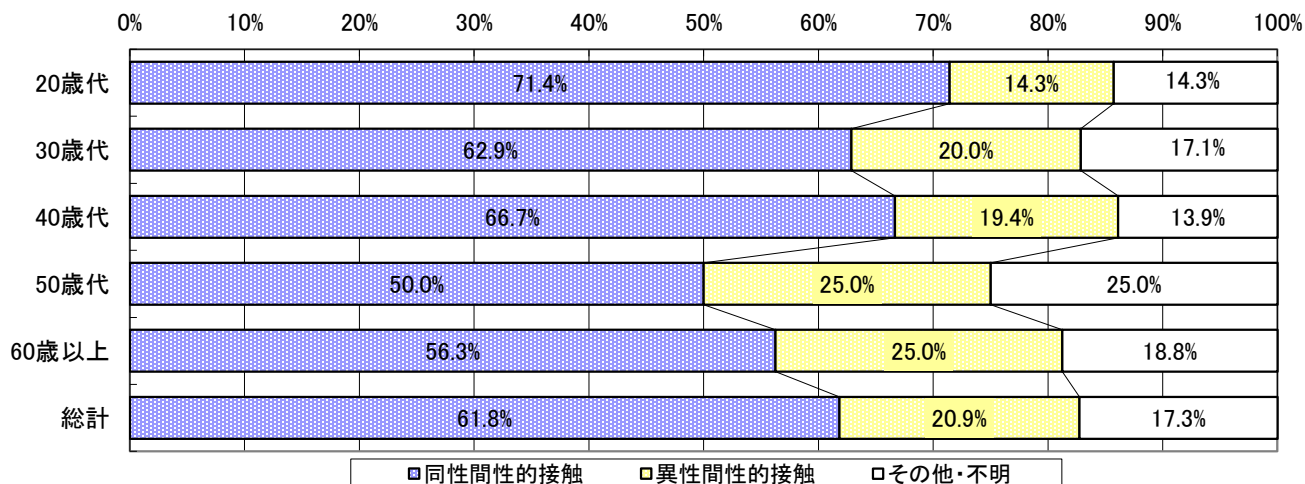
平成13年以降、同性間性的接触の報告数が、異性間性的接触の報告数を上回っている。平成25年は、同性間性的接触の報告数が15件増加し、過去最多となった。

1-17  
東京都の日本国籍男性  
における  
AIDS患者の  
推定感染経  
路別報告数



AIDS患者報告数の多い日本国籍男性でみると、平成12年以降、常に同性間性的接触の報告数が異性間性的接触の報告数を上回るようになっており、平成25年は過去最多となった。

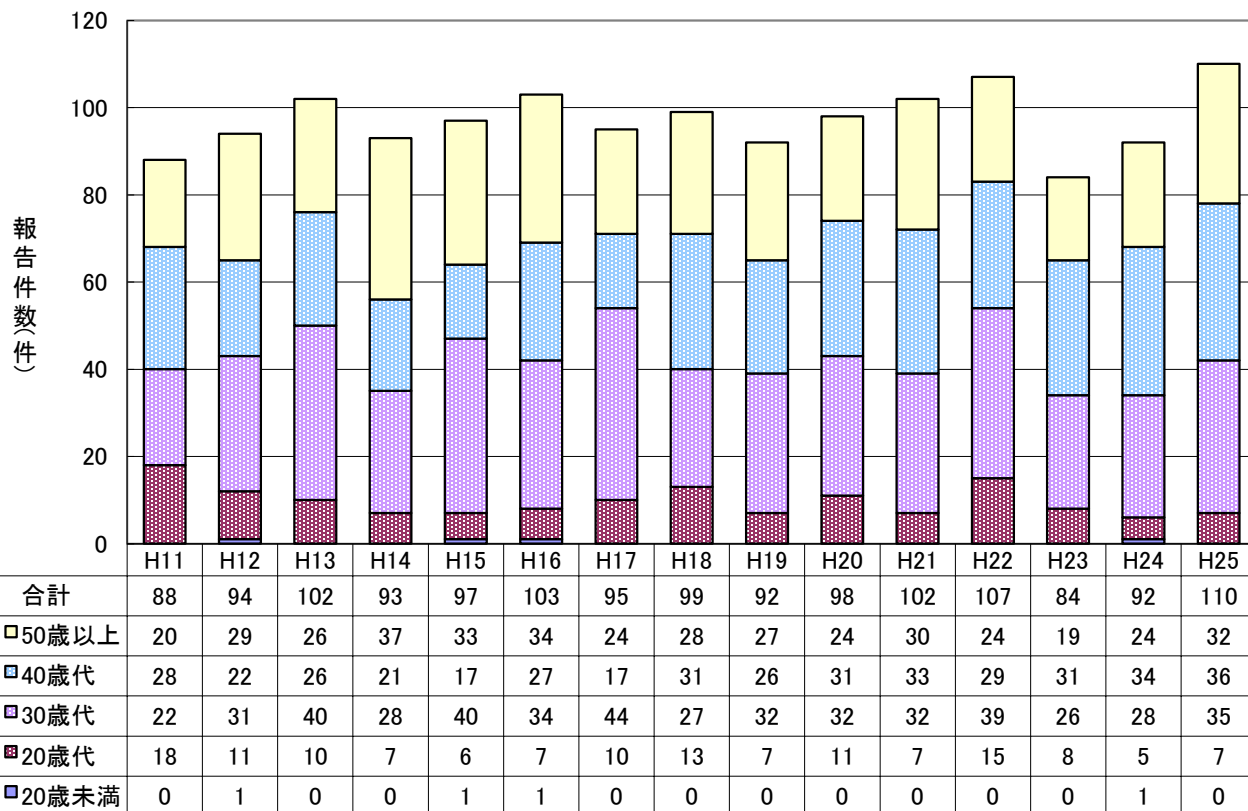
1-18  
東京都の  
AIDS患者の  
年齢別・推  
定感染経路  
別報告割合  
(平成25年)



全ての年代において、異性間性的接触よりも同性間性的接触の割合が高くなっている。

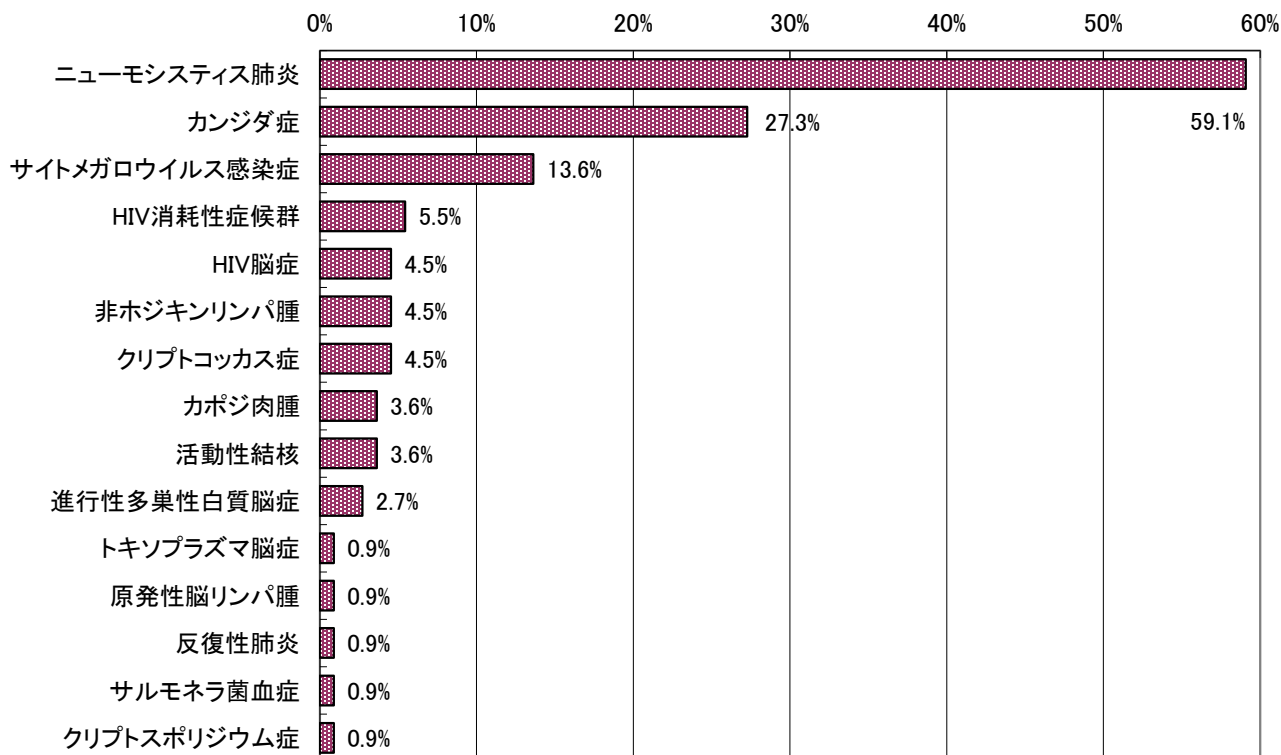


1-19  
東京都の  
AIDS患者の  
年齢別報告  
数年次推移



30歳以上の報告数が多く、この傾向が続いている。

1-20  
東京都の  
AIDS指標疾  
患  
(平成25年)

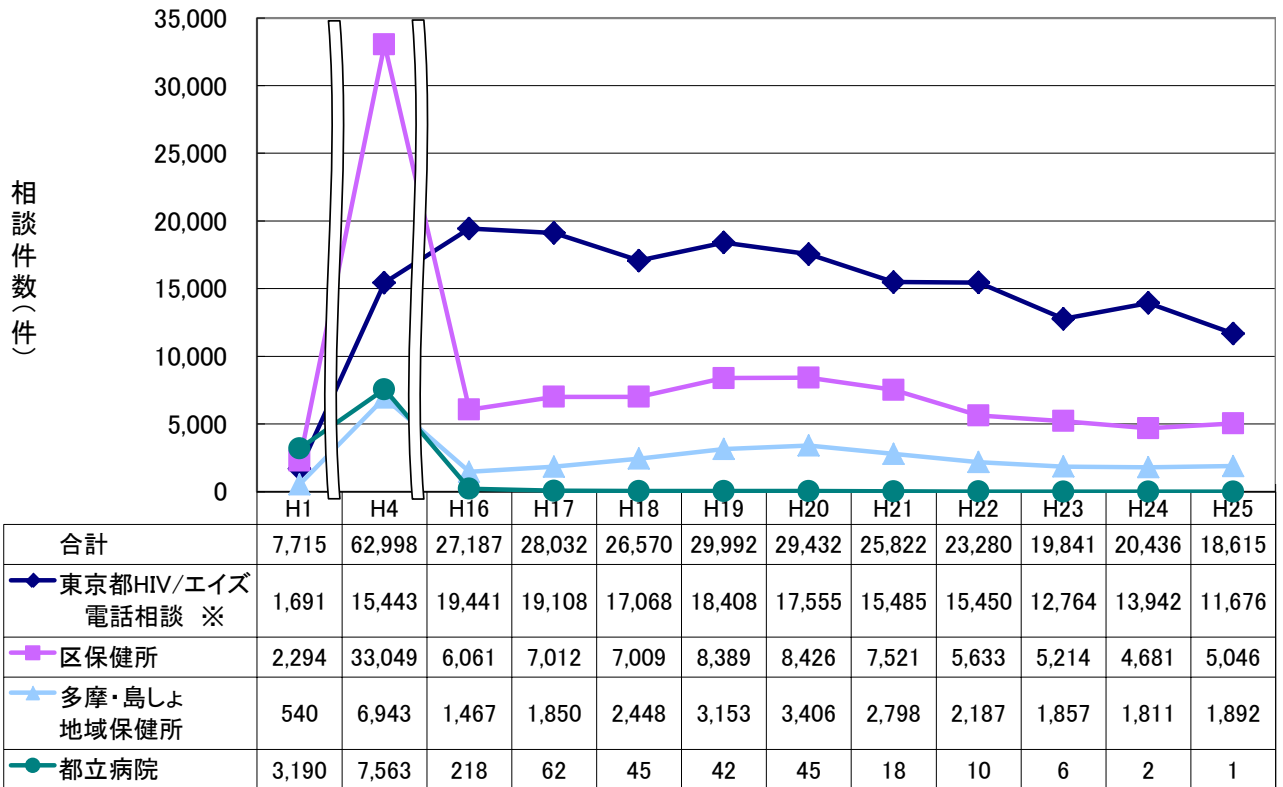


平成25年にAIDSと報告された者の約6割が、ニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いで、カンジダ症、サイトメガロウイルス感染症の順で診断されている。

## 2. 相談・検査・療養体制

### [エイズ電話相談]

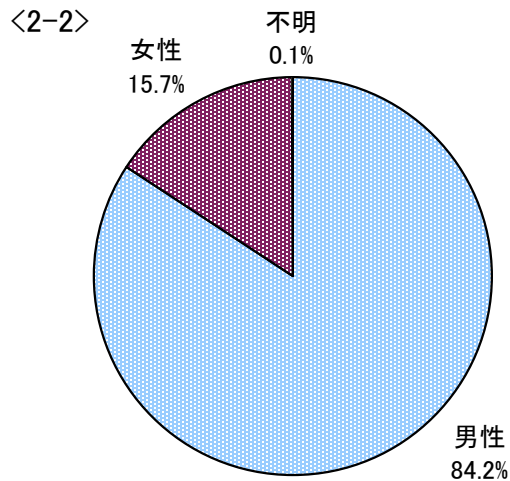
2-1  
東京都のエイズ電話相談件数年次推移



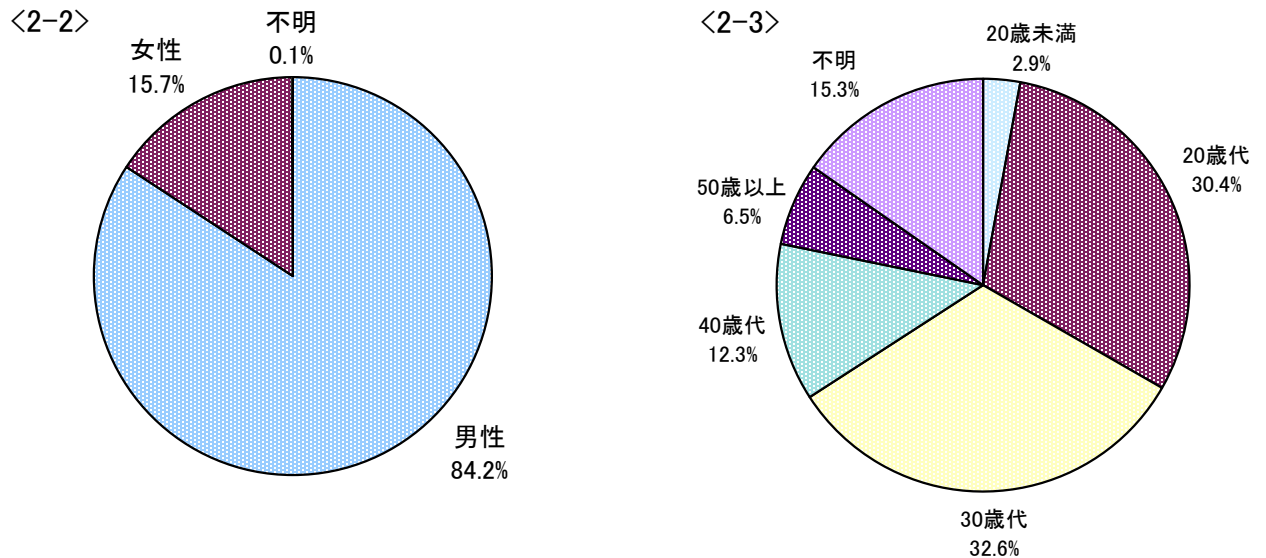
※平成10年以前の「東京都エイズ電話相談」件数には、エイズ対策係で実施していた電話相談の件数を含む。また、八王子市(平成19年4月より)、町田市(平成23年4月より)は、保健所政令市となり各市設置の保健所になっているが、経年比較のため、多摩・島しょ地域保健所に含めて計上している。

エイズ電話相談は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後減少し、その後は横ばいの状況が続いていたが、平成20年以降は減少傾向にある。平成25年については、前年よりも9%減少し、過去10年のうち最も少ない件数であった。このうち、東京都HIV/エイズ電話相談は前年より減少、区保健所、多摩・島しょ地域保健所は前年より増加した。

2-2  
「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別(平成25年)



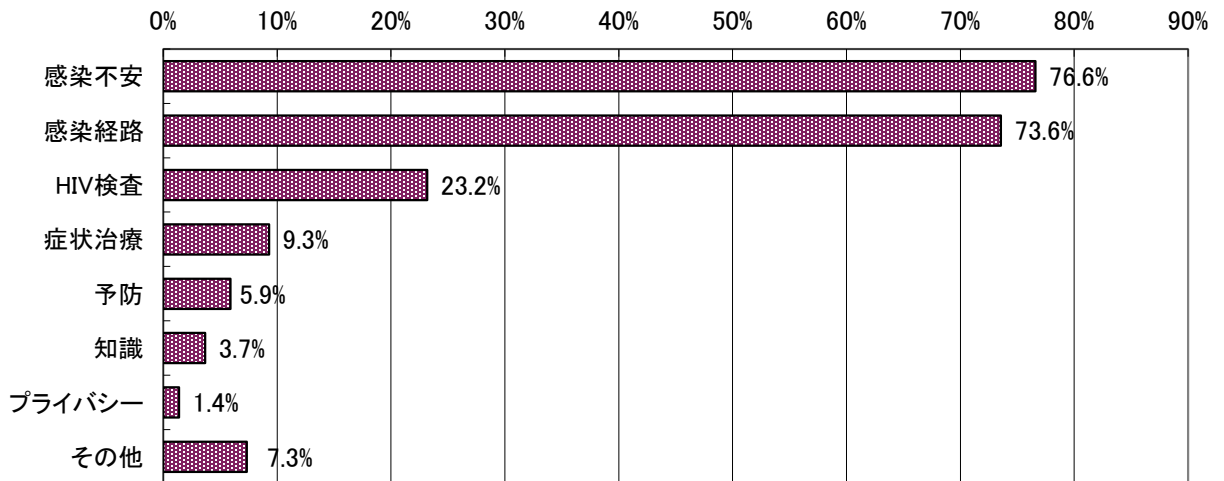
2-3  
「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢(平成25年)



性別については、約8割強が男性であった。年齢別に見ると20歳代・30歳代が多くなっている。30歳代以下の相談者が7割近くを占めており、ここ数年この傾向が続いている。

2-4  
「東京都  
HIV/エイズ  
電話相談」  
の相談内容  
(平成25年)

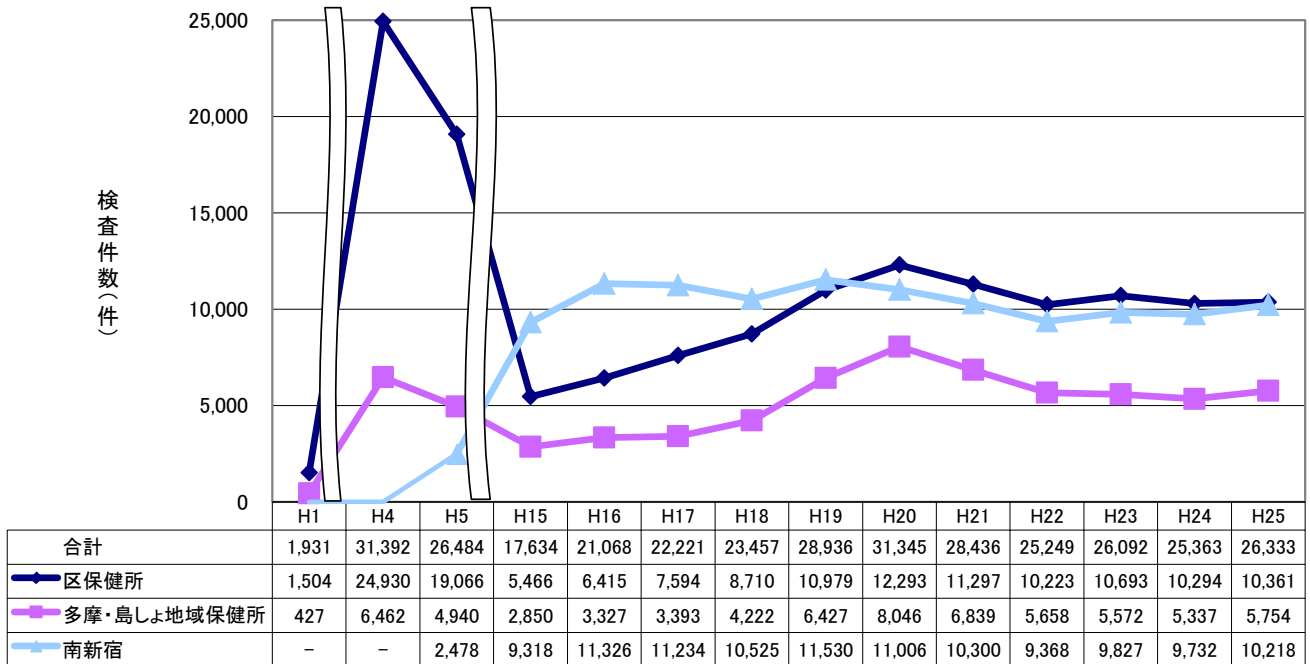
\* 複数回答



東京都HIV/エイズ電話相談の相談内容は、感染不安が最も多く、次いで感染経路となっており、ここ数年この傾向は変わっていない。なお、1回の相談で内容が多岐に渡ることも多いため、相談内容を複数計上している場合もある。

[HIV検査]

2-5  
東京都の  
HIV検査件  
数年次推移

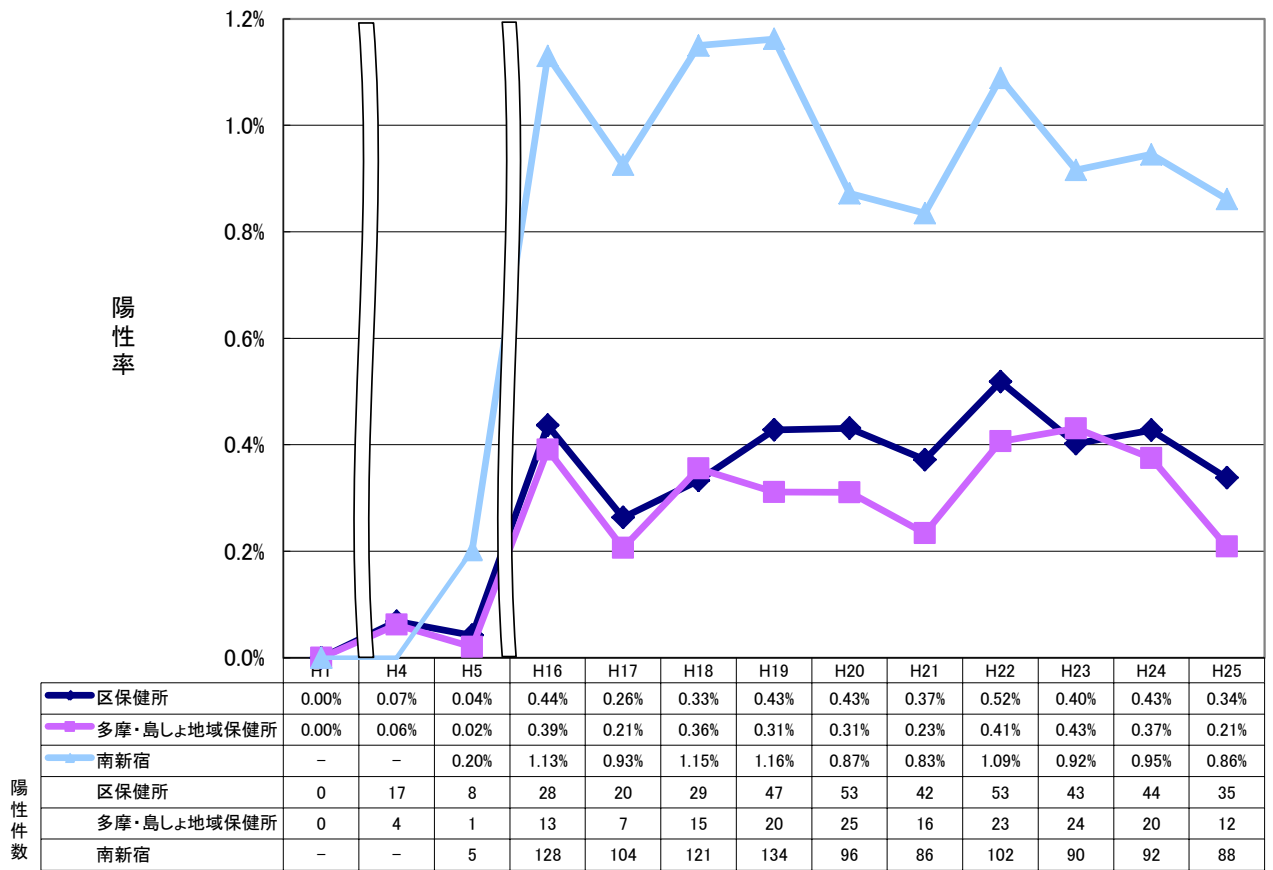


都内保健所（区保健所、多摩・島しょ地域保健所）の検査件数は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後に減少し、その後横ばいの状況が続いていた。平成15年以降は再び増加していたが平成20年をピークに減少に転じ、平成22年からは横ばいで推移しており、平成25年は前年より増加した。多摩・島しょ地域保健所では、多摩府中保健所での検査開始（平成19年）、多摩地域検査・相談室の毎土曜日実施の定着により増加していたが、平成21年より減少に転じており、平成25年は4年ぶりに増加した。区保健所では、港区での委託検査開始（平成20年）などの動きもあり増加した後、平成21年より減少してからは、1万件台で推移している。平成25年は前年より増加した。

南新宿検査・相談室の検査件数は、土・日曜日の検査を開始した平成15年より増加し、平成16年からは1万1000件前後で推移した後、平成19年をピークに減少傾向が続いていた。平成25年は前年比5%増加し、4年ぶりに1万件台となった。

平成25年の検査件数合計では、前年比約4%の増加であった。

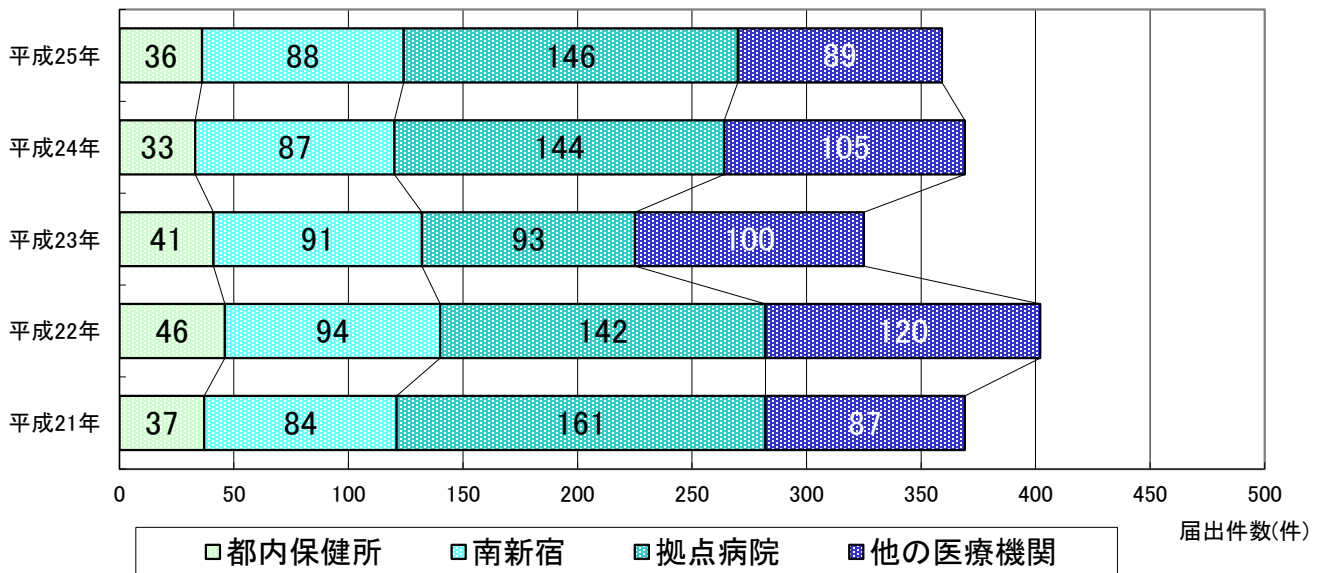
2-6  
東京都の  
HIV検査に  
おける陽性  
件数・陽性  
率年次推移



平成25年は、区保健所、多摩・島しょ地域保健所、南新宿検査・相談室で、陽性件数、陽性率ともに、前年と比べ減少した。

[医療機関]

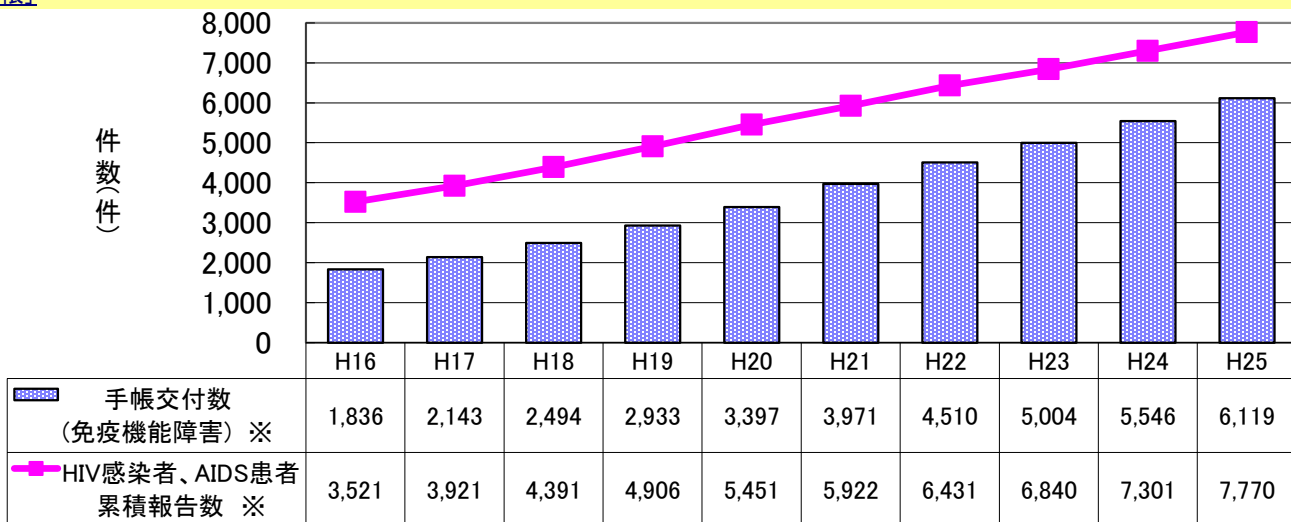
2-7  
東京都の  
HIV感染者  
報告の届出  
別割合  
(平成21年  
～平成25  
年)



平成25年は、検査機関（都内保健所、南新宿検査・相談室）及び拠点病院からの届出件数は前年から横ばいであり、他の医療機関からの届出件数は減少した。

[身体障害者手帳]

2-8  
東京都の  
HIV感染者、AIDS患者  
累積報告数と身体障害者手帳  
(免疫機能障害)交付  
数年次推移



※各年の12月末時点での数値

HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。平成25年末時点ではHIV感染者、AIDS患者累積報告数の8割弱が手帳の交付を受けている。

[性感染症検査]

2-9  
東京都内の保健所、東京都南新宿  
検査・相談室での性感染症検査件数  
と陽性件数 (平成25年)

		梅毒				淋菌		
		検査数(LA)	検査数 (TPHA)	陽性数	陽性率 (陽性数/LA)	検査数	陽性数	陽性率
区保健所	男	3,761	1,860	88	2.3%	784	1	0.1%
	女	2,467	1,205	12	0.5%	613	7	1.1%
多摩地域保健所	男	2,059	2,056	41	2.0%	1,846	9	0.5%
	女	1,197	1,197	6	0.5%	1,041	14	1.3%
南新宿	男	1,612	98	93	5.8%	-	-	-
	女	705	5	2	0.3%	-	-	-
合計	男	7,432	4,014	222	3.0%	2,630	10	0.4%
	女	4,369	2,407	20	0.5%	1,654	21	1.3%
		11,801	6,421	242	2.1%	4,284	31	0.7%

		クラミジア ※						
		検査数	陽性数(IgA)	陽性率(IgA)	陽性数(IgG)	陽性率(IgG)	陽性数(PCR)	陽性率(PCR)
区保健所	男	3,994	298	7.5%	371	9.3%	29	0.7%
	女	2,508	304	12.1%	452	18.0%	60	2.4%
多摩地域保健所	男	1,967	49	2.5%	82	4.2%	49	2.5%
	女	1,123	49	4.4%	66	5.9%	71	6.3%
南新宿	男	1,611	172	10.7%	280	17.4%	-	-
	女	699	106	15.2%	186	26.6%	-	-
合計	男	7,572	519	6.9%	733	9.7%	78	1.0%
	女	4,330	459	10.6%	704	16.3%	131	3.0%
		11,902	978	8.2%	1437	12.1%	209	1.8%

※平成25年4月より、多摩地域保健所のクラミジア検査は抗体検査(IgA、IgG)から病原体検査(PCR)に変更

梅毒の陽性率は男性が高く、淋菌、クラミジアの陽性率は女性が高い。前年\*と比べると、陽性率は梅毒、淋菌は横ばいである。  
\*AIDS News LetterNo.145資料編より

### 3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2012年末現在 (UNAIDS/WHO)

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2013年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(推計値)

3,530万人 (3,220-3,880 万人)

HIV感染者報告の累計数

15,812人

2012年における新規HIV 感染者数 (推計値)

230万人 (190-270 万人)

AIDS患者報告の累計数

7,203人

2012年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

160万人 (140-20 万人)

実際の数値は推計値の右側 ( ) 内に記載された数値の範囲内に存在する。  
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

#### ★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査 (匿名・無料・電話又は携帯からの予約制)

ホームページ <http://www.tmsks.jp>

##### 【予約検査】

予約受付番号 03-3377-0811

予約受付時間 月～金 (祝日を除く) : 午後3時30分から午後7時まで

土・日 (祝日を除く) : 午後1時から午後4時30分まで

※聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-3377-0821 (予約受付時間は上記と同じ)

#### ★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査 (匿名・無料・予約制及び先着順)

##### 【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金 (祝日を除く) : 午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日 (祝日を除く) : 午前10時

##### 【先着順検査】

検査受付時間 土曜日 (祝日を除く) : 午前12時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで)

#### ★東京都HIV/エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

(月～金 : 午前9時から午後9時まで、土・日・祝日 : 午後2時から午後5時まで)

※エイズに関する相談・検査 (匿名・無料) は各保健所へ (一部性感染症検査も同時に可)

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係

郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4487 ファクシミリ 03-5388-1432 e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp